

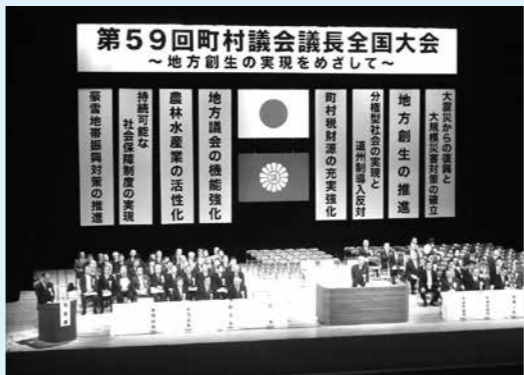
今後の道路網づくりに期待したい

議長 森 隆一

第59回全国町村議会議長会が11月11日に東京NHKホールで開催され、全国928町村より議長・副議長・局長等2千人が参加され、盛大に催された。

正午より開会され各大臣や来賓のあいさつの後、議事に入り、全国町村会より要望が出され、豪雪地帯対策の充実強化等8項目に対し要望された。他の各地域では、地方創生の実現を目指してという事で、全体的には25項目の主要なことの要望をされ、各地区の要望では9つの要望をされた。

近畿地区では近畿地方における高規格幹線道路網等の建設促進に関する要望で①近畿自動車道名古屋神戸線 ②近畿自動車道紀勢線 ③中国横断自動車道姫路鳥取線また一般道で京奈和自動車道等構想の具体化に向けて建設計画を早期に策定されたいとの要望をされた。今後の



道路網づくりに期待したい。その後の記念講演では、建築家の安藤忠雄先生から、独学で建築を学ばれ、世界的な建築家へと登りつめられた体験談を話され、大変意義深いものがあつた。

今後、この経験を生かし、愛荘町のまちづくりのために努力したい。

彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会

自治体経営を学ぶ

議員 徳田 文治

平成27年度彦根・愛知・犬上市町議会議長会議員研修会が11月25日、愛荘町役場で開催され70人が参加した。

人口減少、高齢化、財政縮小の時代の自治体経営はどうあるべきか。どのようなことが自治体に求められ、議会はどのような役割を果たしていくべきか。市議会議員5期、市長3期を務め、市長在職中に「多治見モデル」と呼ばれた自治体経営改革を実践された講師である名古屋学院大学の西寺雅也



教授による「これからの地方自治と議会」と題して、講演を拝聴した。これからの自治体は「自立」と「自律」が重要である。

「自立」では、国や県に依存することなく自ら政策形成できる自治体になることが必要である。そして、地域の課題認識に始まる「現場」からの発想が不可欠であり、自治体間の連携・協力による力量アップが問われる。

「自律」では、政策全体を体系的に管理する（総合計画のあり方を考える）・市政、町政のあり方を考える。さまざまな解決困難な地域課題が顕在化し、深刻化する。それにチャレンジするには、参加の仕組みづくりと協働の仕組みづくりが不可欠である。①原点に返って、議会の役割を考えよう。②今日の状況の中で、議会（議員）は変わらざるを得ない。等々を拝聴した。

本町の議会・自治体にも勉強になる研修会だった。

同和对策審議会答申50年 部落解放運動の新たな展望を

同和对策特別委員会委員長

河村 善一

平成27年11月10日～12日の3日間、大分県別府市のビーコンプラザで開催された全国集会に参加した。

今回のテーマは「同和对策審議会答申50年をふまえ、人権・平和・環境を基軸にした部落解放運動の新たな展望を切り拓く理論研究と実践交流をすすめよう」で、一日目の全体集会では先ず「大分県における部落差別の現状と部落解放運動の課題」についての報告があり、その後「同和对策審議会」答申50年とこれからの部落解放運動」についてのシンポジウムがあり、50年間の運動の歴史と苦労話がパネラーによって話された。

二日目は分科会に別れての研修で、愛荘町からの参加者は第6分科会「差別事件の現状と今後の課題」に参加した。その中では、滋賀県から「同和地区所在地情報の開示をめぐる」の

報告があつた。その他、東京・大阪・大分より「差別事件の取り組み」についての話があつた。三日目は大分出身の村山富市元内閣総理大臣より「戦後70年とこれからの日本を考える」と題する記念講演があつた。

これまでの部落解放運動や同和行政のあり方を問い直し、新たな部落解放運動の前進に向けての集会になった。



建設中のつくし保育園の新園舎を現場視察



11月25日、議員研修(上記)終了後、建設中のつくし保育園の新園舎を、議会で現場視察しました。広々とした園舎は、地元秦川山森林組合の木材も使われています。園児にやさしいぬくもりのある木造の園舎です。子育て支援センター・防災施設も兼ね備えています。